



ピラミードたより

テーマ「大きさ」
発達領域：考えることの発達

①これから遊ぶことの情報を与える(なんだろう?)

“3びきのくま”の絵本を見ました。
「おとうさんはおおきいなあ」「あっ
ぼうしもおおきい」「こどもはちいさい
なあ」「ふとんもちいさいでえ」と、
絵本を見ながら気付いたことをたくさん
話をしていました。「せんせいは
おとうさんといっしょ?」「ぱんださんは
こどもといっしょかなー」と話をして
いたので、背を比べたり、服を比べると
「ぱんださんのふくがちいさいから
こどもとおなじ」と気付きました。



こどものくまは
ちいさいなあ~

③視野を広める(どうしてそうなるの)

大きいものはお父さんくまに、小さい
ものは子どもくまに分けました。「これは
おとうさんかなあ」「こっちはこどもの
おさらやなあ」など、チームの友だちと
話をしながら分けていました。
迷っている友だちがいたら、絵本を見て
「おとうさんのおさらはおおきい
ねん」や「子どもおさらちいさいの」と
言いながら、一緒に分ける子どもも
いました。



こっちはおおきいから
おとうさんの
おさらやなあ~

②具体的に体験する(見てみよう!)

大きさの違うお皿や箱、ボールなどの
大きさを比べました。「おおきいのは
こっち」「こっちがちいさい」と指さしを
したり、持ち上げてみんなに見せて
いました。保育室内で、大きさの違う
ものを探すと、椅子を見つけて「みてー
こっちはおおきい」「これはちいさい」と
子どもたち同士で話をしていました。
他にも、友だちとハンカチの大きさを
比べることを楽しんでいました。



こっちが
おおきいよ~

④視野を深め抽象的な理解に誘う(もっと知りたい!)

チーム同士で背を比べたり、身体を
使って大きい、小さいを表現しました。
「小さくなってみよう」と言うと、「んー
だんごむしー」と身体を丸めて小さくなり
「大きくなってみよう」と言うと、「ぱー」
と大きく両手を広げていました。
何度か行くと、友だちと輪になって
「〇〇ちゃんちいさくなって」「〇〇
くんはおおきくなーれ」と子どもたちで
言いながら行っていました。



おおきく
なった



どっちが
おおきい
かな~?